

第3期 国立市中小企業等振興会議
(中間答申)

平成28年8月

1. はじめに

平成 26 年 12 月に国立市観光懇談会が提出した「国立市の観光に関する提言書」に示された 41 のアクションプランの中には、市内の中小企業者（商店街・農業者も含まず）が取り組むことにより、まちの活性化や賑わいが創造され、最終的に中小企業の振興に資する内容が多く含まれています。

第 3 期 国立市中小企業等振興会議では、この内容をもとに市内中小企業等の活性化につながる施策や、実現化に向けた課題や実施時期・主体などを検討して、市長に対して具体的な提案をするため、平成 27 年 7 月 3 日の第 1 回会合以降議論を進めてきました。

第 1 回会合からほぼ 1 年を迎えるにあたり、現在までの議論の内容を「第 3 期 国立市中小企業等振興会議（中間答申）」として、市長に報告します。

この報告にあたり第 3 期 国立市中小企業等振興会議では、中間答申に書かれている内容に、既に計画・実施中の施策や、検証段階に入っている施策もあるかもしれませんが、それぞれの施策ごとに、Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の 4 段階を繰り返すことで、継続的に施策が改善されていくことを願っています。

2. 報告の内容について

観光懇談会の提言した 41 のアクションプランから、市内中小企業等の活性化につながるきっかけとなるものを抽出・加工して、次の 10 の提案にまとめました。

(1) 「住民による四季を通した美しい街づくり(審美性の高い)機運を醸成する提携」

この提案は、国立市観光懇談会の提言書に書かれたものではありませんが、その趣旨を汲んだうえで、短期的に商業者の利益となる活動ではないが、国立市全域での長期的な取り組みとして「四季を通して花で美しい街づくり運動を展開」し、イメージ形成や広く市民の協力を求める活動を行い、最終的には来街者の増加により商業の振興を目指すものです。

そのために、市内商業者が積極的に活動するよう促すことを提案します。特に大学通りの植栽整備を更に進めていくことが必要ですが、環境の保全（植栽整備）やイベント等での使用など相反する意見や要望の調整の必要性を認識したうえで、「住民による四季を通した美しい街づくり(審美性の高い)機運を醸成するため全市的な提携」を提案するものです。

具体的施策

- ①産業振興課から、国立市の関係部署（環境担当の主管課や景観関係の主管課等）、国立市商工会などの商工団体へ趣旨を周知し協力を要請する。
- ②環境政策課と「くにたち花と緑のまちづくり協議会」が現在進めている活動が、よ

り一層発展するよう施策を推進することを提案する。

- ③大学通りの緑地帯について、保全と利活用の調整や検討をする横断的な議論が必要であることから、このことについて国立市が積極的に関与することを提案する。
- ④国立市内で季節毎の統一した花を決定し、市内全域での植栽活動などへの協力を呼びかける。

(2) 「来街者が安心して市内を回遊し買い物が出来る環境の整備」

この提案は、観光懇談会のアクションプランでは「バリアフリーやユニバーサルデザインの推進・公共のトイレ環境の向上」とされていたものを、市内商業の振興に資する内容に修正し、歩道の水溜りの解消、バリアフリー化を推進し、誰でも通れるように改修を進めるというものと、来街者が安心して街を楽しめるという観点から、トイレが大変重要であるという認識のもと、くにたち市民トイレ制度のより一層の充実を図ると共に、公共トイレのネーミングライツの活用や民間のトイレのさらなる活用等も含め、整備に関する検討を進めることも併せて「来街者が安心して市内を回遊し買い物が出来る環境の整備」として提案します。

具体的施策

- ①国立市が、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する内容をまとめて、市内事業者へ周知する。(啓発活動の展開)
- ②国立市が、来街者の回遊性を確保するため、市内のトイレ(公設・くにたち市民トイレ等)の設置管理状況の確認調査を行う。
- ③調査結果を踏まえて、トイレの維持管理基準(いつでも・誰でも・どこのトイレでも同じように利用できる)等の検討や、くにたち市民トイレに準じた民間事業者のトイレの活用方法を検討する。

(3) 「回遊性の高い国立としての自転車のあり方の検討」

この提案は、観光懇談会のアクションプランでは「自転車置き場を増やす」とされていましたが、コンパクトな国立市の立地条件から、来街者はもとより市民を含めた自転車の積極的な利用を促進することで、北地域から南部地域までの高い回遊性を確保し、来街者の増加による市内全域での消費喚起を促すため、回遊性の高い国立としての自転車のあり方の検討を提案するものです。

具体的施策

- ①国立市自転車対策審議会での議論の際に、一橋大学のシェアサイクリングや観光のツールとしての自転車の活用、近隣自治体やJRとの連携も念頭においていただく

よう要望する。

(4) 「個店同士をつなぐ仕組みづくりの検討」

この提案は、観光懇談会のアクションプランでは「個人店同士の結びつきを強化する」とされていましたが、表現が抽象的であったことから中小企業等振興会議では一步踏み込んで、市内商店の有志が頻繁に集まってイベントの相談をしている事例を参考に、中小企業や商店会等の組織同士の付き合いだけではなく、個人同士のつながりも促進して、常にどこかでイベントが行われている街となる取り組みを推進するよう行政や商工会等に提案します。

具体的施策

- ① 「くにたちゆる市」などの事例を参考に、個々の中小企業及び商工団体の経営支援を図ると共に、協力できる店舗・個人がいればネットワーク化・結びつきの場の設定することで、個店同士をつなぐ仕組みづくりを検討する。
- ② 国立市商工会が作成した「国立市商業振興計画商業まちづくり案」で提案されている「伝え、集め、広げる」インフラ活用と整備事業の具体化を図る。

(5) 「参加型イベントによる商工業の活性化」

この提案は、観光懇談会のアクションプランでは「参加型イベントを充実する」とされていましたが、商工業の活性化を目的として参加型イベントを活用すると表現を改めて、高齢者と若い人や子供が交流するイベントや、高齢者の増加を踏まえ高齢者のイベントを視野に入れながら検討することを提案します。

また、国立市役所の「ふくふく窓口」を参考に、商工業振興に関係したイベントの相談窓口機能の必要性についても検討することを提案します。

具体的施策

- ① 国立市が、既存イベントのターゲットを把握し、商業者との連携を促進することや、各種媒体・ツールを活用したイベント情報の発信をする。

(6) 「市内学校・専門学校との交流や連携を通じた商工業振興」

この提案は、観光懇談会のアクションプランでは「市内学校・専門学校との連携イベントを充実する」とされていましたが、中小企業等の振興の観点から、商店会のイベントなどに市内の学校や専門学校の生徒に有償ボランティア等で活動してもらうなどの交流や連携を検討することを提言します。

具体的施策

- ①国立市が、市内学校・専門学校とどのような連携（学園祭などの情報をまとめて HP 等で紹介するなど）ができるかの実態調査を行う。
- ②調査結果を踏まえ、市内の学校と商業者がどのような連携（有償ボランティア等）ができるか検討し、双方に参加を呼びかける。

（7）「観光ホームページを充実させる」

国立市の HP に観光のページが無く、委託している「くにナビ」（旧称：インデックス）へのリンクがわかりづらいので改善することを提案します。

また、「くにナビ」（旧称：インデックス）が平成 28 年 5 月にリニューアルされたことから、アクセス数の推移などにより充実度を検証することを提案します。

具体的施策

- ①国立市の観光担当主管課へ早急に対応するように要請する。

（8）「Wi-Fi の環境整備をする」

国や都の補助金を活用して、災害時の情報収集手段として有効であることから Wi-Fi 整備を進めることを提案します。

具体的施策

- ①国立市が、Wi-Fi の設置場所や設置後の人の動線を検討し、商業者へ情報提供を行う。
- ②国や都の補助金の情報収集に努め、市の関係部署が連携して環境整備に当たる。

（9）「国立ブランドを磨き拡充する」

観光懇談会のアクションプラン「国立ブランドを充実する」を議論する中で、「国立ブランドとは何か」、「国立市商工会のくにたちスタイルとの関係はどのようなものなのか」、「基本構想にある国立ブランドと、国立市商工会のくにたちスタイルで定義するくにたちらしさとの関係は」、といった疑問についてかなりの時間を割きましたが、最終的な結論には至りませんでした。そこで、合意できた部分を表現する言葉として「国立ブランドを磨き拡充する」としました。

具体的には、国立ブランドに抱合される国立市商工会のくにたちスタイル制度の更なる活用方法の検討（「これから」というものの扱い）を提案することとなりました。

また、「くにたちらしさ」として、実際に見てビジュアルでこの店・この商店街は国立にしかないという何かを考えることを商工会や商店会に提案します。

具体的施策

- ①「国立ブランド・国立らしさ」のイメージの共有と、創業・第二創業などを含めた新規事業者が参入しやすいような方策を検討する。(くにたちスタイルへの提案も含む)

※国立ブランドとくにたちスタイルは別のものなので、整理が必要

(10) 市内の商工業者情報を観光的視点から発信

この提案は、観光懇談会のアクションプランでは「各店の情報を取りまとめ、発信を強化する」とされていましたが、中小企業等の振興の観点から、「市内の商工業者情報を観光的視点から発信」へ修正し、市外に向けた観光冊子等の作成を促すことを提案します。

具体的施策

- ①観光冊子の作成及び商工会のくにたちショッピング情報などの情報発信媒体(電子媒体)への掲載・更新を促進する。

3. おわりに

第3期 国立市中小企業等振興会議では、約1年(5回)にわたり国立市観光懇談会が提出した「国立市の観光に関する提言書」のアクションプランをもとに、市内の中小企業振興策について議論してきました。会議では、街の魅力を向上させ多くの来街者を呼び込むことが市内の中小企業の活性化につながるという共通認識のもと、様々な意見がだされました。その中で、年間を通じて来街者を呼び込むには、市内の環境美化や整備を行政・住民・市内各種団体が連携して行う機運を醸成することが重要であるとの提案に至ったことはまちづくりの観点からも特に重要で、国立市観光懇談会が提案したテーマ「TOKYO SALON 出会いを楽しむ街 くにたち」に通じるところがあります。また、それ以外の提案についても市内の中小企業振興策として検討いただきたい内容ばかりです。

しかし、冒頭に記載したとおり今回の報告は、第1回会合からほぼ1年を迎えるにあたり、現在までの議論の内容をまとめて報告するもののため、十分に議論の時間が取れなかった部分や行政の他の部門が担当している分野の情報の不足などから、更なる検証と内容の精査が求められるところです。

第3期 国立市中小企業等振興会議としては、最終答申に向け今後も引き続き議論を重ねてまいります。

参考資料

- 活動記録
- 提案(一覧表)
- 提案検討シート
- 観光懇談会提言書 「観光の体系図」

中小企業等振興会議活動記録

会 議	日 時	内 容
第1回	平成27年 7月3日(金) 19:00~21:00 市役所第4会議室	(1) 委嘱状交付 (2) 市長あいさつ (3) 委員及び事務局の紹介 (4) 会長、副会長の選出 (5) 議題についての説明 (6) 今後の進め方 ※委員13名 全員出席
第2回	平成27年 10月23日(金) 19:00~21:00 市役所東臨時事務室	(1) 第1回討議内容(要旨)・討議結果の確認 (2) 「観光懇談会提言書「観光体系図」をもとにしたアクションプランの分類」(事務局原案)の説明 (3) 「観光懇談会の提言を踏まえて観光体系図の整理」に係る意見・提案委員の説明 (4) 「観光懇談会の提言を踏まえて観光体系図の整理」に係る討議 (5) 次回の日程について ※委員13名 全員出席
第3回	平成28年 1月26日(火) 19:00~21:00 市役所第4会議室	(1) 第2回討議内容の確認 ・要旨についての追加・修正等 ・前回の会議での決定等 (2) 「第2回討議内容・事務局調査結果等を反映した会議資料(事務局原案)」について検討 (3) その他 ※委員13名 全員出席
第4回	平成28年 4月6日(水) 19:00~21:00 市役所第4会議室	(1) 第3回討議内容の確認 (2) 中小企業等振興会議の意見取りまとめ(中間)について (3) その他 ※委員10名 出席
第5回	平成28年 6月30日(木) 19:00~21:00 市役所第4会議室	(1) 第4回討議内容の確認 (2) 中間答申(案)について (2) その他 ※委員10名 出席

テーマ	A : 国立らしい観光	B : 施策	C : 中小企業等振興会議の提案
<p>TOKYO SALON 出会いを楽しむ街 くにごたち</p>	<p>もっと住みたくなる街をつくる (来訪者とともに多様なライフスタイルをつくる)</p>	<p>住民と共に美しい街、住みたい街第1位を目指す(一部修正)</p> <p>景観美化ともっと住みたくなる街づくりを促進する</p>	<p>①住民による四季を通した美しい街づくり(審美性の高い)機運を醸成する</p> <p>②来街者が安心して市内を回遊し買い物が出来る環境の整備</p> <p>③回遊性の高い国立としての自転車のあり方の検討</p>
	<p>学び賢くなる場をつくる (来訪者とともに学び賢くなる)</p>	<p>農商工業者の連携を強化する</p> <p>イベント(教育・アート・音楽)を充実させる</p>	<p>④個店同士をつなぐ仕組みづくりの検討</p> <p>⑤参加型イベントによる商工業の活性化</p> <p>⑥市内学校・専門学校との交流や連携を通じた商工業振興</p>
<p>住民みんなでおもてなし (来訪者とともに暮らすを楽しむ)</p>	<p>PR活動の強化をする</p>	<p>⑦観光ホームページを充実させる</p> <p>⑧Wi-Fiの環境整備をする</p> <p>⑨国立ブランドを磨き拡充する</p> <p>⑩市内の商工業者情報の観光的視点から発信</p>	

①住民による四季を通した美しい街づくり(審美性の高い)機運を醸成する提携

<p>中小企業等振興会議の意見(案)</p>	<p>短期的に商業者の利益となる活動ではないが、国立市全域での長期的な取り組みとして「通年を通して花で美しい街づくり運動を展開」し、イメージ形成や広く市民の協力を求める活動を行い、最終的には来街者の増加により商業の振興を目指す。そのために市内商業者が積極的に活動するよう促すことを提案する。特に大学通りの植栽整備を更に進めていくことが必要であるが、植栽整備やイベント等での使用など相反する意見や要望の調整が不可欠である。</p> <p>具体策 (1)国立市の産業振興課から、庁内の環境政策課及び国立市商工会などの商工団体へ趣旨を提言する。 (2)特に大学通りでは、環境政策課と「くにたち花と緑のまちづくり協議会」が現在進めている活動を全市的に発展するよう施策を推進することを提案するとともに、他の活用等を含めた調整・検討する横断的な組織の必要も併せて提案する。 (3)季節毎の統一した花を決定。市民へ運動を呼びかける。</p>
<p>D: 短期的施策 すぐ出来る取り組み、やる人がいればできること(誰が、何を)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅及び店舗、公共施設等の軒先、ベランダ等に春夏秋冬を通じて花いっぱい運動を展開する。 ・四季を通して季節を感じる花の植栽を整備する
<p>E: 長期的施策 市が予算をつけることが必要なもの等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京のボストンのような美しい街を目指す、100年先まで美しい街を目指す施策の展開 ・市民の植栽参加区画を公募するなどして協力の確保等
<p>F: ビジネスアイデア等の視点(具体的な収益事業としての可能性)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学通りの車道と自転車道を仕切るプランターを市民に貸し出す。マイプランターとして、花や低木の花木を四季を通じて植えてもらう。 ・住民主導による、通年を通して花で美しい街づくり運動を展開 ・花市の開催(春の花市・秋の花市を市内生花店・植木商・農家と開催) ・新たな種苗等のビジネスの増進 ・花市の開催(春の花市・秋の花市を市内生花店・植木商・農家と開催)
<p>G: 模範事例等 (具体例、規模、予算額等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例 くにたち桜守 (http://www005.upp.so-net.ne.jp/k-sakuramori/) フェイスブック ページ https://www.facebook.com/kunitachi.sakuramori 大学通りハンギングバスケットコンテスト(大学通り商店会)
<p>H: 委員のアイデア・意見(事業のイメージや事業の具体化・差別化等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・春は桜とスマイル(桜の見頃は1週間で終了)、夏はアジサイ、朝顔、向日葵、秋はコスモス、冬はシクラメンや住宅でのイルミネーション等 ・国立市のイメージをしっかりと示した花・花木の選定が必要。市民の意見(投票)など市民参加型を図る。 ・国立市に住みたい理由の上位に「景観が美しいから」がある。市の管理する「大学通り」だけでなく「さくら通り」「矢川通り」も含めた植栽は市の計画の中で。その他、市の施設・郵便局も含めた公共施設も景観をよくするために「花」を飾る、植える。市民・商店街や企業にも呼びかけて、通りに面して花を飾り(植える)、美しい「国立市」のたずまいを作る。美しい街には自然に人が集まる。※植栽に関して意見:桜は1週間。桜の後、紫陽花、朝顔・ひまわりなど四季の花のある植栽が必要ではないか。 ・大学通りの車道と自転車道の境をなすプランターを市民に貸し出す。マイプランターとして花や低木の花木を植えてもらうことによる市民参加型景観づくり
<p>すぐにはできるのか、研究や準備が必要か、予算がどれくらいかかるのかという具体的な展開の可能性や条件を検討(事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市の他の施策との連携により推進は可能。ただし、花を植えたり置いたりした後に、どのように中小企業の振興に役立てるかという具体的な提案が必要。 ・大学通りの植栽の整備は、秋の市民まつり・天下市など緑地部分での開催が困難になる可能性もあるため、実行委員会の意見聴取が必要である。また、大学通りの植栽は、周辺住民はもとより市民の非常に関心が高い関心事であり、植栽計画を持つ環境政策課と十分な協議を要する。
<p>市の他部署からの情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内一斉清掃(ごみゼロ運動):年2回、国立市美化推進協議会が中心となり自治会、商店会等が市内駅周辺その他の地域のボランティア清掃活動を行っている。(ごみ減量課) ・クリーン多摩川:年2回、クリーン多摩川国立の集い実行委員会が中心となり市民団体、サークル等が多摩川河川敷のボランティア清掃活動を行っている。(ごみ減量課) ・道路清掃協力:月2回を基本に道路清掃活動を行った自治会等の協力団体に対して市が謝礼を支払っている。(ごみ減量課) ・平成25年度に、「花と緑のまちづくり事業」として、くにたち桜守やくにたち花と緑のネットワークなど、市内の花と緑に関するボランティアをしてくださっている団体のほか、くにたち観光まちづくり協会、公園協力会など、さまざま組織の方々には呼びかけさせていただき立ち上げた「くにたち花と緑のまちづくり協議会」(事務局:環境政策課)において、「国立の自然を知る・学ぶ・味わう」や「連続講座 めざせ!コミュニティガーデナー」など、花と緑に親しんでいただくイベントを開催する中で、市内に花と緑の風景が広がっていくことをねらうとともに、市民が主体となって活動を行うことを通じ、コミュニティが作られていくことを目的に事業を行っている。(環境政策課) ・国立市内の各老人クラブによる、街路や公園等での清掃奉仕(高齢者支援課) ・「くにたち花と緑のまちづくり協議会」の中に、大学通り緑地帯の維持管理に関わっていただいている個人・団体の方でつくる「大学通り花と緑検討会」を立ち上げ、大学通り緑地帯のデザインについて検討を行っている。(環境政策課) ・桜とイチヨウを中心として、足元の土壌や周辺の環境、景観に調和した植栽を行っていただけるよう、市民が中心となって、緑地帯のデザインづくりを議論しているとともに、春と秋の年2回、検討会メンバーのくにたち桜守の協力をいただき、市内の小、中学生とともに花植えを行っている。(環境政策課)

②来街者が安心して市内を回遊し買い物ができる環境の整備

<p>中小企業等振興会議の意見(案)</p>	<p>歩道の水溜りの解消、バリアフリー化推進し、誰でも通れるように改修を進めることを提案する。また、観光や来街者が安心して街を楽しむという点で、民間のトイレの活用等も含めを整備に関する検討を進める。</p> <p>具体策 <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する内容をまとめて、市内事業者へ周知する(啓蒙活動) ・市が来街者の回遊性を確保するための設置管理状況の確認を行う ・調査結果を踏まえて、トイレの維持管理基準(いつでも・誰でも・どここのトイレでも同じように利用できる)等の検討 ・紙などの消耗品負担や清掃維持の労力負担などの課題解消を前提とした民間事業者のトイレの活用方法の検討 </p>
<p>D: 短期的施策 すぐに出来る取り組み、やる人がいればできること(誰が、何を)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的視点で検討する
<p>E: 長期的施策 市が予算をつけることが必要なもの等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路管理者(都、市、公的機関の協力と活用)
<p>F: ビジネスアイデア等の視点 (具体的な収益事業としての可能性)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい景観の重視と景観の維持
<p>G: 模範事例等 (具体例、規模、予算額等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市 堺市(ユニバーサルデザイン) 横浜市(トイレのネーミングライツ)
<p>H: 委員のアイデア・意見(事業のイメージや事業の具体化・差別化等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の水たまりの解消、バリアフリー化の推進 ・犬の糞の持ち帰りの啓蒙
<p>すぐにできるのか、研究や準備が必要か、予算がどれくらいかかるのかという具体的な展開の可能性や条件を検討(事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の施設によってトイレの所管が異なるため、庁内で統一した方針を検討することが必要。また、トイレについては既に整備されており既存の改修等には多額の費用も予想される
<p>市の他部署からの情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度より国立市自転車対策審議会を設置し、自転車ネットワーク計画の策定や自転車の活用(コミュニティサイクルの導入等)について検討を行っていきたいと考えております。審議会には、国立市商工会・国立市観光まちづくり協会・国立市自転車商組合に委員として参加していただけないか、現在打診しているところです(交通課)

③回遊性の高い国立としての自転車のあり方の検討

<p>中小企業等振興会議の意見(案)</p>	<p>国立市自転車対策審議会での検討時に、一橋大学のシェアサイクリングや観光のツールとしての自転車の活用も念頭においていただくよう要望する。</p> <p>具体策:国立市自転車対策審議会へ中小企業等振興会議から情報提供を行う。</p>
<p>D:短期的施策 すぐ出来る取り組み、やる人がいればできること(誰が、何を)</p>	<p>・長期的視点で検討する</p>
<p>E:長期的施策 市が予算をつけることが必要なもの等</p>	<p>・H27.3策定の国立駅自転車駐車場整備計画等</p>
<p>F:ビジネスアイデア等の視点 (具体的な収益事業としての可能性)</p>	<p>・レンタサイクル等と回遊による時間消費型ビジネスの向上</p>
<p>G:模範事例等 (具体例、規模、予算額等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一橋大学内のシェア自転車 ・Suicle(スイクル) JR http://suicle.jp/ 武蔵境・東小金井・東京農工大学科学博物館前 ・くにたち・まちづくり∞自転車倶楽部 http://kunicycle.exblog.jp/ https://www.facebook.com/CFD.kunitachi ・親子でリンリンツアーなど子供向けサイクリング教室を開催 ・木材でサドルを掛けて駐輪する器具がある普及しているまち ・中央区や港区などのシェアサイクリング ・金沢のレンタサイクル
<p>H:委員のアイデア・意見(事業のイメージや事業の具体化・差別化等)</p>	
<p>すぐにできるのか、研究や準備が必要か、予算がどれくらいかかるのかという具体的な展開の可能性や条件を検討(事務局)</p>	<p>交通課が所管部署となり、平成28年度より、国立市自転車対策審議会を設置し、自転車ネットワーク計画の策定や自転車の活用(コミュニティサイクルの導入等)について検討していくこととなっている。中小企業等振興会議の意見を、審議会へ伝えることは可能である。</p>
<p>市の他部署からの情報</p>	<p>平成28年度より国立市自転車対策審議会を設置し、自転車ネットワーク計画の策定や自転車の活用(コミュニティサイクルの導入等)について検討を行っていきたいと考えております。審議会には、国立市商工会・国立市観光まちづくり協会・国立市自転車商組合に委員として参加していただけないか、現在打診しているところです(交通課)</p>

④個店同士をつなぐ仕組みづくりの検討

<p>中小企業等振興会議の意見(案)</p>	<p>市内商店の有志が頻繁に集まってイベントの相談をしている事例を参考に、組織同士の付き合いではなく個人同士のつながりを促進して、常にどこかでイベントが行われている街となる取り組みを推進するよう商工会等に提案する。</p> <p>具体策:個店同士をつなぐ仕組みづくりの検討(商工会の便利度向上委員会報告書P27との連携)</p>
<p>D: 短期的施策 すぐに出来る取り組み、やる人がいればできること(誰が、何を)</p>	<p>・協力できる店舗・個人がいればネットワーク化・結びつきの場の設定</p>
<p>E: 長期的施策 市が予算をつけることが必要なもの等</p>	
<p>F: ビジネスアイデア等の視点 (具体的な収益事業としての可能性)</p>	<p>・交流会の場所貸し・ケータリングサービス等</p>
<p>G: 模範事例等 (具体例、規模、予算額等)</p>	<p>・くにたちゆる市 ・国立散歩(ミモザ散歩・朝顔散歩・ものしり散歩) ・クリスマスイベント(タキシードでおもてなし企画)</p>
<p>H: 委員のアイデア・意見(事業のイメージや事業の具体化・差別化等)</p>	
<p>すぐにはできるのか、研究や準備が必要か、予算がどれくらいかかるのかという具体的な展開の可能性や条件を検討(事務局)</p>	
<p>市の他部署からの情報</p>	

⑤参加型イベントによる商工業の活性化	
中小企業等振興会議の意見(案)	<p>高齢者と若い人や子供が交流したり、高齢者も増加しているので、高齢者のイベントも視野に入れながら検討することを提案する。(市内の参加型イベントの把握と商業者との連携を検討する)</p> <p>また、ふくふく窓口を参考に商業振興に関係したイベントの相談窓口機能の必要性を提案する。</p> <p>具体策: 既存イベントのターゲットを把握し、商業者との連携を促進することや、イベント情報の発信</p>
D: 短期的施策 すぐに出来る取り組み、やる人がいればできること(誰が、何を)	・イベントの内容と実施団体との協議・場所の確保
E: 長期的施策 市が予算をつけることが必要なもの等	・参加料・レンタル料・飲食の提供
F: ビジネスアイデア等の視点(具体的な収益事業としての可能性)	
G: 模範事例等 (具体例、規模、予算額等)	<p>・ハロウィン in くにたち2015 公式サイト http://www.humanenvironment.com/halloween/index.htm (主催: 富士見台名店街 協力: NPO法人くにたち富士見台人間環境キーステーション) 「⑧宿泊施設をつくる」と連動</p>
H: 委員のアイデア・意見(事業のイメージや事業の具体化・差別化等)	
すぐにできるのか、研究や準備が必要か、予算がどれくらいかかるのかという具体的な展開の可能性や条件を検討(事務局)	・参加型イベントの具体的なイベントの絞込みが必要
市の他部署からの情報	<p>国立市自立支援協議会つどい部会が実施した飲食店のバリアフリー調査結果を国立市観光まちづくり協会が主催するサイト、くにたちインデックスに掲載してもらうよう準備を進めている。(しょうがいしゃ支援課)</p> <p>農のポータルサイト「くにたちあぐりッポ」を活用して、市内の農情報(直売所・市民農園・イベント等)を発信している。(農業振興係)</p> <p>○国立市青少年音楽フェスティバル 市内小中学校(私立含む)の音楽団体が集い、音楽で表現し合う交流活動を通じて、児童・生徒の夢と希望を育てていくことを目的とする。また、将来的には高等学校や大学等も参加できるようなフェスティバルに拡大していく可能性もある。(教育指導支援課)</p> <p>○放課後学習支援教室 放課後の空き教室を利用し、児童が学習する機会を作る。指導者は地域の方を募集し(教員経験者を含む)国語と算数の2教科について勉強が苦手な児童に対して学習支援を行う。(小学校のみ)(教育指導支援課)</p> <p>○運動の楽しさ伝え隊 市内にある東京女子体育大学及び東京女子短期大学の教員を志す学生を中心に「運動の楽しさ伝え隊」として市内全8小学校に派遣し、体育の授業の補助員として運動の苦手な児童への支援を行っている。(東京都の予算にて)(教育指導支援課)</p> <p>○ティーチングアシスタント 教員を志す学生を募集し、授業の補助員として活用する。(謝礼: 1回1,500円)(教育指導支援課)</p> <p>○学校教育活動支援者 国立市の特色を生かした国際理解教育の一層の推進と学校と地域の連携による教育活動の充実のために行う事業。(地域人材を活動した取り組み。謝礼: 1回2,500円)(教育指導支援課)</p> <p>○立川JCとの連携 まと火、リンク国立、わんぱく相撲、みらいく(模擬選挙)、進路面接練習など(教育指導支援課)</p> <p>○都立国立高校生による学習ボランティア(教育指導支援課)</p> <p>○中学生職場体験(教育指導支援課)</p>

⑥市内学校・専門学校との交流や連携を通じた商工業振興

<p>中小企業等振興会議の意見(案)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商店会のイベントなどに市内の学校や専門学校の生徒に有償ボランティア等で活動してもらう方策を検討することを提言する。 ・市内学校・専門学校とどのような連携(学園祭などの情報をまとめてHP等で紹介するなど)ができるかの実態調査を行う。 <p>具体策:市内の学校と商業者がどのような連携ができるか検討し、双方に参加を呼びかける</p>
<p>D: 短期的施策 すぐ出来る取り組み、やる人がいればできること(誰が、何を)</p>	
<p>E: 長期的施策 市が予算をつけることが必要なもの等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関との協議・実施主体の決定・会場等の確保
<p>F: ビジネスアイデア等の視点(具体的な収益事業としての可能性)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加料・レンタル料・飲食の提供
<p>G: 模範事例等 (具体例、規模、予算額等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・くにたち富士見台人間キーステーション(KF)の活動 ・矢川メルカード商店会のイベントへの東京女子体育大学の学生の参加
<p>H: 委員のアイデア・意見(事業のイメージや事業の具体化・差別化等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクと連動 ・エコール辻市民講座 ・エコール辻(アトリエ辻)実習販売
<p>すぐにできるのか、研究や準備が必要か、予算がどれくらいかかるのかという具体的な展開の可能性や条件を検討(事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専門学校との連携事例はあるが追加のイベントについてはマッチングが難しい面があるため、具体的なイベントの絞込みが必要
<p>市の他部署からの情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○環境フェスタくにたち: 同イベントにおいて、市内小・中学校の環境学習の作品展示等を行っている。(ごみ減量課) ○国立市青少年音楽フェスティバル 市内小中学校(私立含む)の音楽団体が集い、音楽で表現し合う交流活動を通じて、児童・生徒の夢と希望を育てていくことを目的とする。また、将来的には高等学校や大学等も参加できるようなフェスティバルに拡大していく可能性もある。(教育指導支援課) ○放課後学習支援教室 放課後の空き教室を利用し、児童が学習する機会を作る。指導者は地域の方を募集し(教員経験者を含む)国語と算数の2教科について勉強が苦手な児童に対して学習支援を行う。(小学校のみ)(教育指導支援課) ○運動の楽しさ伝え隊 市内にある東京女子体育大学及び東京女子短期大学の教員を志す学生を中心に「運動の楽しさ伝え隊」として市内全8小学校に派遣し、体育の授業の補助員として運動の苦手な児童への支援を行っている。(東京都の予算にて)(教育指導支援課) ○ティーチングアシスタント 教員を志す学生を募集し、授業の補助員として活用する。(謝礼: 1回1,500円)(教育指導支援課) ○学校教育活動支援者 国立市の特色を生かした国際理解教育の一層の推進と学校と地域の連携による教育活動の充実のために行う事業。(地域人材を活動した取り組み。謝礼: 1回2,500円)(教育指導支援課) ○立川JCとの連携 まと火、リンク国立、わんぱく相撲、みらいく(模擬選挙)、進路面接練習など(教育指導支援課) ○都立国立高校生徒による学習ボランティア(教育指導支援課) ○中学生職場体験(教育指導支援課)

⑦観光ホームページを充実させる

<p>中小企業等振興会議の意見(案)</p>	<p>国立市のHPに観光のページが無く、委託している「インデックス」へのリンクがわかりづらいので改善することを提案する。 「インデックス」が平成28年4月にリニューアルされることから、アクセス数の推移などにより充実度を検証することを提案する。</p> <p>具体策: 国立市の観光担当主管課へ早急に対応するように要請する。</p>
<p>D: 短期的施策 すぐに出来る取り組み、やる人がいればできること(誰が、何を)</p>	<p>・観光まちづくり協会・商工会と協議</p>
<p>E: 長期的施策 市が予算をつけることが必要なもの等</p>	
<p>F: ビジネスアイデア等の視点 (具体的な収益事業としての可能性)</p>	<p>・バナー広告・ネット販売</p>
<p>G: 模範事例等 (具体例、規模、予算額等)</p>	<p>・くにたちインデックス(国立市観光まちづくり協会) http://kunimachi.jp/ ・国立情報WEBマガジン くにたちハッピースポット http://kunitachi.happyspot.jp/ ・クニッター(国立新聞) http://kunitter.com/ ・国立人 http://kunitachijin.com/→「小さなまちのしごと探し」へリニューアル</p>
<p>H: 委員のアイデア・意見(事業のイメージや事業の具体化・差別化等)</p>	
<p>すぐにできるのか、研究や準備が必要か、予算がどれくらいかかるのかという具体的な展開の可能性や条件を検討(事務局)</p>	<p>現在、市が運営を委託している「くにたちインデックス」について、当初の総合ポータルサイト(地域振興及び観光)から、観光に特化したサイトへ内容を移行しつつある。ただし、サイトの改修や運営については委託料に限界がある</p>
<p>市の他部署からの情報</p>	<p>国立市自立支援協議会つどい部会が実施した飲食店のバリアフリー調査結果を国立市観光まちづくり協会が主催するサイト、くにたちインデックスに掲載してもらうよう準備を進めている。(しょうがいしゃ支援課) 農のポータルサイト「くにたちあぐりッポ」を活用して、市内の農情報(直売所・市民農園・イベント等)を発信している。(農業振興係)</p>

⑧Wi-Fiの環境整備をする

<p>中小企業等振興会議の意見(案)</p>	<p>国や都の補助金を活用して、災害時の情報収集手段として有効であることからWi-Fi整備を進めることを提案する。</p> <p>具体策:Wi-Fiの設置場所や設置後の人の動線を検討し、商業者へ情報提供を行う</p>
<p>D: 短期的施策 すぐに出来る取り組み、やる人がいればできること(誰が、何を)</p>	<p>・通信会社、商工会、商店会と協議</p>
<p>E: 長期的施策 市が予算をつけることが必要なもの等</p>	<p>・整備費用や整備方針の検討、各種補助金の活用</p>
<p>F: ビジネスアイデア等の視点 (具体的な収益事業としての可能性)</p>	<p>・集客力増による売り上げ増</p>
<p>G: 模範事例等 (具体例、規模、予算額等)</p>	
<p>H: 委員のアイデア・意見(事業のイメージや事業の具体化・差別化等)</p>	
<p>すぐにできるのか、研究や準備が必要か、予算がどれくらいかかるのかという具体的な展開の可能性や条件を検討(事務局)</p>	<p>整備費用や整備方針を検討する場の設定から始めるため、方法の検討まで時間がかかるものと予測される。国の補助金(観光・防災Wi-Fiステーション整備事業等)の活用についても、補助率が1/2のため市の負担額が高額となることが課題である。</p>
<p>市の他部署からの情報</p>	<p>各市立小・中学校においては、校務、学校教育で利用する教育用ネットワーク(いわゆる、庁内LANの学校版)にアクセスするための無線LANが敷設されている。ただしこれは庁内LAN同様、予め決められた校務用、学校教育用端末からのみアクセスが可能なものであり、一般市民等に広く開放しているものではない。(教育指導支援課)</p>

⑨国立ブランドを磨き拡充する	
中小企業等振興会議の意見(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・国立ブランドに縫合される国立市商工会のくにたちスタイル制度の更なる活用方法の検討(「これから」というものの扱い)を提案する ・「くにたちらしさ」を、見てビジュアルでここは国立にしかないというものを商店街で表現することを提案する。 <p>具体策:「国立ブランド・国立らしさ」のイメージの共有と、新規事業者が参入しやすいような方策を検討する。(くにたちスタイルへの提案も含む)</p> <p>※国立ブランドとくにたちスタイルは別のものなので、整理が必要</p>
D: 短期的施策 すぐに出来る取り組み、やる人がいればできること(誰が、何を)	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい街づくりの食品、ファニチャー等の具体化を推進
E: 長期的施策 市が予算をつけることが必要なもの等	<ul style="list-style-type: none"> ・新規開拓 ・既存ブランド
F: ビジネスアイデア等の視点 (具体的な収益事業としての可能性)	<ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓による売り上げ増
G: 模範事例等 (具体例、規模、予算額等)	<ul style="list-style-type: none"> ・くにたちスタイル ・くにたちスイーツ
H: 委員のアイデア・意見(事業のイメージや事業の具体化・差別化等)	
すぐにはできるのか、研究や準備が必要か、予算がどれくらいかかるのかという具体的な展開の可能性や条件を検討(事務局)	<p>現在のくにたちスタイルには、①コンセプト②独自性・主体性③信頼性④市場性⑤創造性の認定基準をもとに認定された商品及びサービスで認定の申請資格が商工会の会員等であることなど制限もある。そのため、充実には商工会への働きかけが必要である。また、新たなブランドを創出する場合、既存のブランドとの競合など、制度設計や予算の確保など課題も考えられる。</p>
市の他部署からの情報	<p>市税等口座振替加入促進キャンペーンとして、新規で口座振替を申込みの方のなかから抽選で100名の方々に、「くにたちスタイル」認定品(¥3,000相当)を1品選んでいただいて、プレゼントしている。(収納課)</p>

⑩市内の商工業者情報を観光的視点から発信

<p>中小企業等振興会議の意見(案)</p>	<p>市外に向けた観光冊子の作成を促す 具体策:観光冊子の作成及び商工会のくにたちショッピング情報などの情報発信媒体(電子媒体)への掲載・更新を促進する</p>
<p>D:短期的施策 すぐに出来る取り組み、やる人がいればできること(誰が、何を)</p>	<p>○(既存の組織団体の協力が前提・情報収集能力の向上、市単独ではなく複数の団体の協力が必要)</p>
<p>E:長期的施策 市が予算をつけることが必要なもの等</p>	
<p>F:ビジネスアイデア等の視点 (具体的な収益事業としての可能性)</p>	
<p>G:模範事例等 (具体例、規模、予算額等)</p>	<p>江東区観光協会 ガテラ</p>
<p>H:委員のアイデア・意見(事業のイメージや事業の具体化・差別化等)</p>	<p>市内の商店を紹介した冊子の作成、市外への配布、ホームページ作成</p>
<p>すぐにできるのか、研究や準備が必要か、予算がどれくらいかかるのかという具体的な展開の可能性や条件を検討(事務局)</p>	<p>行政が行うとどうしても公平性などの観点から内容が総花的なものになる恐れがある。また、全市的に網羅するには資金と人手が必要となってくる。</p>
<p>市の他部署からの情報</p>	

テーマ

国立らしい観光

施策

アクションプラン

TOKYO SALON 出会いを楽しむ街 くにたち

